

目次

前文	3
1. 宇宙政策をめぐる環境認識	4
(1) 安全保障における宇宙空間の重要性の高まり	4
(2) 社会の宇宙システムへの依存度の高まり	4
(3) 宇宙空間の持続的かつ安定的な利用を妨げるリスクの深刻化	5
(4) 諸外国の宇宙活動の活発化	5
(5) 民間の宇宙活動の活発化と新たなビジネスモデルの台頭	6
(6) 宇宙活動の広がり	7
(7) 科学技術の急速な進化	7
2. 我が国の宇宙政策の目標	9
(1) 多様な国益への貢献	9
① 宇宙安全保障の確保	9
② 災害対策・国土強靱化や地球規模課題の解決への貢献	9
③ 宇宙科学・探査による新たな知の創造	10
④ 宇宙を推進力とする経済成長とイノベーションの実現	10
(2) 産業・科学技術基盤を始めとする我が国の宇宙活動を支える総合的基盤の強化	10
3. 宇宙政策の推進に当たっての基本的なスタンス	11
(1) 安全保障や産業利用等のニーズに基づく出口主導の宇宙政策	11
(2) 投資の予見可能性を与え、民間の活力を最大限活用する宇宙政策	11
(3) 人材・資金・知的財産等の資源を効果的・効率的に活用する宇宙政策	11
(4) 同盟国・友好国等と戦略的に連携する宇宙政策	12
4. 宇宙政策に関する具体的アプローチ	13
(1) 宇宙安全保障の確保	13
① 基本的考え方	13
② 主な取組	13
i. 準天頂衛星システム	13
ii. Xバンド防衛衛星通信網	13
iii. 情報収集衛星	13
iv. 即応型小型衛星システム	14
v. 各種商用衛星等の利活用	14
vi. 早期警戒機能等	14
vii. 海洋状況把握	14
viii. 宇宙状況把握	15
ix. 宇宙システム全体の機能保証強化	15
x. 同盟国・友好国等と戦略的に連携した国際的なルール作り	15
(2) 災害対策・国土強靱化や地球規模課題の解決への貢献	15
① 基本的考え方	15
② 主な取組	16
i. 気象衛星	16
ii. 温室効果ガス観測技術衛星	16
iii. 地球観測衛星・センサ	16
iv. 準天頂衛星システム	17
v. 情報収集衛星	17

vi.	災害対策・国土強靱化への衛星データの活用	18
vii.	資源探査センサ（ハイパースペクトルセンサ）	18
(3)	宇宙科学・探査による新たな知の創造	18
①	基本的考え方	18
②	主な取組	19
i.	宇宙科学・探査	19
ii.	国際宇宙探査への参画	20
iii.	ISS を含む地球低軌道活動	21
(4)	宇宙を推進力とする経済成長とイノベーションの実現	21
①	基本的考え方	21
②	主な取組	22
i.	衛星データ（衛星リモートセンシング・測位）の利用拡大	22
ii.	政府衛星データのオープン＆フリー化	23
iii.	政府衛星データプラットフォーム	23
iv.	民間事業者への宇宙状況把握サービス提供のためのシステム構築	23
v.	国等のプロジェクトにおけるベンチャー企業等民間からの調達拡大	24
vi.	JAXA の事業創出・オープンイノベーションに関する取組強化（出資機能の活用等）	24
vii.	異業種企業やベンチャー企業の宇宙産業への参入促進	24
viii.	制度環境整備	25
ix.	射場・スペースポート	25
x.	海外市場開拓	25
xi.	月探査活動への民間企業等の参画促進	26
xii.	ISS を含む地球低軌道における経済活動等の促進	26
(5)	産業・科学技術基盤を始めとする宇宙活動を支える総合的な基盤の強化	27
①	基本的考え方	27
②	主な取組	27
i.	基幹ロケット（H-II A/B ロケット、H3 ロケット、イプシロンロケット）の開発・運用	27
ii.	将来の宇宙輸送システムの研究開発	27
iii.	衛星開発・実証を戦略的に推進する枠組み（衛星開発・実証プラットフォーム）の構築	28
iv.	衛星関連の革新的基盤技術開発	28
v.	有人宇宙活動の在り方の検討	30
vi.	スペースデブリ対策	30
vii.	宇宙太陽光発電の研究開発	30
viii.	宇宙環境のモニタリング（宇宙天気）	31
ix.	宇宙活動を支える人材基盤の強化	31
x.	宇宙分野の知財活動のための環境整備	31
xi.	宇宙産業のサプライチェーンの強化	32
xii.	国際的なルール作りの推進	32
xiii.	国際宇宙協力の強化	32
xiv.	調査分析・戦略立案機能の強化	33
xv.	国民理解の増進	33

変更後（令和5年6月13日閣議決定）

目次

前文	3
1. 宇宙政策をめぐる環境認識	4
（1）変化する安全保障環境下における宇宙空間の利用の加速	4
（2）経済・社会の宇宙システムへの依存度の高まり	4
（3）宇宙産業の構造変革	5
（4）月以遠の深宇宙を含めた宇宙探査活動の活発化	6
（5）宇宙へのアクセスの必要性の増大	8
（6）宇宙の安全で持続的な利用を妨げるリスク・脅威の増大	9
2. 目標と将来像	10
（1）宇宙安全保障の確保	10
i. 目標	10
ii. 将来像	10
（2）国土強靱化・地球規模課題への対応とイノベーションの実現	11
i. 目標	11
ii. 将来像	11
（3）宇宙科学・探査における新たな知と産業の創造	13
i. 目標	13
ii. 将来像	14
（4）宇宙活動を支える総合的基盤の強化	16
i. 目標	16
ii. 将来像	16
3. 宇宙政策の推進に当たっての基本的なスタンス	18
（1）安全保障や宇宙科学・探査等のミッションへの実装や商業化を見据えた政策	18
（2）宇宙技術戦略に基づく技術開発の強化	18
（3）同盟国・同志国等との国際連携の強化	19
（4）国際競争力を持つ企業の戦略的育成・支援	19
（5）宇宙開発の中核機関たる JAXA の役割・機能の強化	19
（6）人材・資金等の資源の効果的・効率的な活用	20

4. 宇宙政策に関する具体的アプローチ	21
(1) 宇宙安全保障の確保に向けた具体的アプローチ	21
(a) 宇宙安全保障のための宇宙システム利用の抜本的拡大	21
(b) 宇宙空間の安全かつ安定的な利用の確保	23
(c) 安全保障と宇宙産業の発展の好循環の実現	24
(2) 国土強靱化・地球規模課題への対応とイノベーションの実現に向けた具体的アプローチ ..	24
(a) 次世代通信サービス	25
(b) リモートセンシング	26
(c) 準天頂衛星システム	27
(d) 衛星開発・利用基盤の拡充	28
(3) 宇宙科学・探査における新たな知と産業の創造に向けた具体的アプローチ	31
(a) 宇宙科学・探査	31
(b) 月面における持続的な有人活動	33
(c) 地球低軌道活動	34
(4) 宇宙活動を支える総合的基盤の強化に向けた具体的アプローチ	35
(a) 宇宙輸送	36
(b) 宇宙交通管理及びスペースデブリ対策	37
(c) 技術・産業・人材基盤の強化	38